

令和5年度定期総会結果

今年度の総会議事の審議結果は以下のとおりです。

	承認数/会員数 (一般・会員数)	承認率
1) 令和4年度 事業・決算報告及び監査報告	194/212	91.5%
2) 令和5年度 事業計画(案)及び予算(案)	194/212	91.5%
3) 役員改選(案)	194/212	91.5%

会則17条により全会員の1/2以上(委任状提出者含む194/212)の参加があり、総会として成立していることが確認され、また過半数を超える承認率となっておりますので、令和5年度の議事については承認されました。

「四国の川を考える会」

令和5年度定期総会

令和5年8月

四国の川を考える会 事務局

「四国の川を考える会」令和5年度定期総会

～ 目 次 ～

議 事

- (1) 令和4年度 事業報告
- (2) 令和4年度 決算報告及び監査報告
- (3) 令和5年度 事業計画(案)
- (4) 令和5年度 予算(案)
- (5) 役員の改選 (案)
- (6) その他
 - 1) 課題への対応方針(案)
 - 2) 会員の動向

(1) 令和4年度 事業報告

1) 事業報告

① 会議

・ 運営幹事会

開催日 令和4年4月19日(火)

場 所 建設クリエイトビル 会議室

議 題

- 1) 令和4年度 役員会・定期総会の開催日程について
- 2) 令和4年度 事業計画・予算(案)
- 3) 令和4年度 助成事業等の審査
- 4) その他(役員改選、会員動向等)

・ 役員会(新型コロナウイルス対策のため郵送にて審議)

議 題

- 1) 令和4年度 定期総会の開催について
- 2) 令和4年度 事業計画・予算(案)
- 3) 令和4年度 助成事業等の審査
- 4) その他(役員改選、会員動向等)

・ 定期総会

開催日 令和4年8月5日(金)

場 所 マリンパレスさぬき「瀬戸」

議 題

- 1) 令和3年度 事業・決算報告及び監査報告
- 2) 令和4年度 事業計画(案)及び予算(案)
- 3) 役員改選
- 4) その他

② 広報誌、機関紙の発行

・ 広報誌 " あめんぼWEB版 "

発 行 : 令和5年2月1日

「流域治水」のさらなる推進に向けて、流域治水の取組・事例紹介と川のトピックス等を紹介

・ 機関紙 " 水紋WEB版 "

情報が入りしだい掲載する形にリニューアル。

- ・ 総会報告 (R5/2/1)
- ・ 助成事業の実施状況 (R5/2/1)
- ・ 四国堰堤ダム88箇所巡りの完走認定状況 (R5/2/1)

③令和4年度 広報事業と助成事業

区分	イベント名	河川名	場所	主催者	実施状況
広報事業	第40回ファミリーハゼ釣り大会	吉野川	吉野川河口～名田橋	第40回ファミリーハゼ釣り大会実行委員会（日本釣振興会徳島県支部ほか）	令和4年10月2日（日） 240名
助成事業	みずべ公園（かすみの森公園）の美化活動とVertマルシェ	重信川	重信川かすみの森公園	Vertマルシェ実行委員会	令和5年5月4日（木） 実施約300名
	「重信川かすみの森公園のかわまちづくり活動とスラックラインジュニアカップ」	重信川	重信川かすみの森公園	一般社団法人日本スラックライン連盟愛媛支部	令和4年11月27日（日） 約150名
	遊んで学ぼう、鮎喰川。	鮎喰川	鮎喰川	徳島の川に親しむダンスの会	令和4年7月31日（日） 104名
	那賀川源流コンサート	那賀川	和食郷道の駅「鷺の里」河川敷特設会場	那賀川アフターフォーラム	令和4年11月20日（日） 約150名
	土器川・YOU・遊フェスタ	土器川	丸亀市土器町西地先土器川高水敷「みんなの広場」	丸亀市立城東幼稚園	令和5年4月27日（木） 実施約170名
	絶滅の恐れのある水生生物調査とその保全、保全水路での観察会	土器川	水生生物調査：土器川・香東川水系 観察会：太田中央公園せせらぎ水路（香東川水系）、香東川	香川淡水魚研究会	令和4年8月21日（日） 観察会実施36名 水生生物調査令和5年5月迄実施
	横瀬川アクティブイベント	横瀬川	横瀬川ダム	ダム利活用調整協議会	新型コロナウイルス対策のためイベント中止

④その他

【報告】四国堰堤ダム88箇所巡り完走認定について

堰堤88箇所巡りの完走認定につきましては、平成24年度の総会で承認されて以来実施しています。

認定状況としましては、平成24年11月に第1号の完走の認定を行った後、昨年（令和4年8月5日時点）までに162名の方を認定し、その後さらに11名の方を加え、令和5年5月末現在時点で、のべ173名の方を認定しております。（このうち、六回り目を達成した方が2名、五回り目を達成した方が2名、四回り目を達成した方が3名、三回り目を達成した方が5名、二回り目を達成した方が19名）

(2) 令和4年度 決算報告及び監査報告

1) 令和4年度 決算報告

自 令和4年6月1日 ～ 至 令和年5月31日

(省略)

(3) 令和5年度 事業計画 (案)

① 助成事業を実施する。

- ・ 広報事業は「吉野川ファミリーハゼ釣り大会」が幕を閉じたことから今年度は実施しない
- ・ 令和5年度助成事業の選定

② ホームページを活用し、広報誌「あめんぼ」の情報発信を行う。

③ 機関紙「水紋」をホームページにて公開

④ 四国堰堤ダム88箇所巡り完走認定

(4) 令和5年度 予算 (案)

(省略)

令和5年度 助成事業応募状況

	助成事業名(活動名)	助成・ 後援 の別	新規・ 継続	応募者	実施時期	要望額
①	重信川かすみの森公園のかわ まちづくり活動とスラックライン ジュニアカップ	助成	継続	日本スラックライン連盟 愛媛県支部	R5年11月下旬	100,000
②	遊んで学ぼう、鮎喰川。	助成	継続	徳島の川に親しむダンス の会	R5年7月30日	100,000
③	那賀川源流コンサート	助成	継続	那賀川アフターフォーラ ム	R5年11月19日	100,000
④	横瀬川アクティブイベント	助成	継続	ダム利活用調整協議会	R5年11月	100,000
⑤	リレー防災みらいサロン	助成	新規	中讃地域 防災・減災・ 縮災ネットワークプロジェ クト	7回/年	100,000
⑥	四国に唯一生息するカジカ(県 指定絶滅危惧Ⅰ類)の生息調 査・保護	助成	新規	香川淡水魚研究会	(カジカ生息調査) R5年6月～R6年1月(2回/ 月) (人工産卵床設置・観察) R6年2月から5月(1回/月)	100,000
⑦	重信川かわまちづくりと重信川 シクロクロス大会	助成	新規	重信川シクロクロス実行 委員会 ミズベリング愛媛	R6年1～2月頃	100,000
⑧	小学生によるあゆつかみ取りと 河川水質学習	助成	新規	肱川漁業協同組合肱川 支部・肱川プロジェクト	R5年8月中旬	100,000
⑨	水辺で乾杯	助成	新規	MIZBERING NIYODOGAWA INOTOWN	R5年7月7日	100,000
⑩	仁淀川紙のこいのぼり	助成 及び 後援	新規	仁淀川紙のこいのぼり 実行委員会	R6年5月3～5日	100,000
⑪	神楽と鮎と酒に酔う	助成 及び 後援	新規	仁淀川神楽と鮎と酒に 酔う実行委員会	R5年10月	100,000
	合計					1,100,000

令和5年度「四国の川を考える会」広報事業と助成事業(案)

(参考資料)

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加予定人数	開催日	助成決定額
広報事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
助成事業	①重信川かすみの森公園のかわまちづくり活動とスラックラインジュニアカップ (継続)	日本スラックライン連盟愛媛県支部	重信川	平成31年3月に新規登録された重信川かわまちづくりでは、重信川、石手川沿川の東温市など4市町で、「自然と人、人と人との出あいの場、重信川」をコンセプトに、今後、概ね5年間でサイクリングロード整備や、自然体験の場の充実が図られているところです。 東温市では、かわまちづくり計画として、平成31年3月23日に、河川公園で日本初となるスラックラインパークをオープンしたところです。 日本スラックライン連盟愛媛県支部は、国土交通省、東温市のかわまちづくり計画の趣旨に賛同し、スラックラインパークの有効活用を行い、さらなる重信川の魅力を向上させるため、河川空間を活用した地域の観光振興の促進を図ることを目的に活動します。	日本スラックライン連盟四国支部と一般参加者の約150名で、重信川かわまちづくりスポット「かすみの森公園」の有効活用として、スラックラインジュニアカップ(小学生以下のスラックラインの大会)を行い、重信川とふれあい魅力を発信するとともに、国土交通省かわまちづくりの事業紹介などを行い、河川環境保全の理解を深めます。	重信川かすみの森公園	約100人	令和5年11月下旬	(100,000) 70,000
	②2023 遊んで学ぼう、鮎喰川。 (継続)	徳島の川に親しむダンスの会	鮎喰川	文化を育み自然と共存していこうとする子どもたちの姿が見られなくなっている現在、「川」や「自然」と触れ合う「川でのレクリエーション」を通して、川の文化や川との付き合い方を教える。	本イベントは、本会の助成事業(3回目)で開催する。川で集団遊びを展開しながら、安全面や集団遊びの楽しさを体感し、川や自然の魅力を肌で感じられる本イベントである。だんだん定着しつつあるこのイベントは、県内の子ども達や保護者からは大変有意義で楽しかったと大好評であることから、本年度も今までの課題を検討しながら計画したい。そのうえで、子ども達に川との良い関係を体験してもらい「川の文化」や「川との付き合い」について考え深めてもらうきっかけにする。 開催場所としている鮎喰川(神山町下分栗生野/「てくてく栗生野」付近の水辺)は、水質も良く流れも穏やかで子ども達は川の水流に乗って遊び、川でのレクリエーション活動には水深も最適であり、様々な川レクリエーションが考えられる。また、徳島特有の青石の周りには生き物や植物が生息し、川散策にも最適である等、これら川の特色を生かして“遊びから学ぶ”川の活動を展開する。	鮎喰川	約100人	令和5年7月30日	(100,000) 70,000

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加予定人数	開催日	助成決定額
助成事業	③那賀川源流コンサート (継続)	那賀川アフターフォーラム	那賀川	流域内外の小中学生や一般の方々を対象として那賀川源流コンサートを開催し、参加を通じて自然に触れてもらい自然の豊さと自然環境の現実を体感してもらおう。併せて流域内外交流の活性化や那賀川の上流域と下流域の連携による地域振興を目指す。	那賀川流域内外の関係者によるコンサートを源流域で開催する。那賀川の自然や環境に関する教育、那賀川流域の自然の紹介を通じて流域内の交流活性化を図る。	高ノ瀬峡レストハウス平の里駐車場特設会場	150人	令和5年11月19日	(100,000) 80,000
	④横瀬川アクティブイベント (継続)	ダム利活用調整協議会	横瀬川	ダム利活用調整協議会では、ダムを活用した地域振興及び防災教育等に関する取組を行っており、令和2年6月に管理を開始した横瀬川ダムにおいて、ダム壁面を活用したクライミング体験やダム湖周辺サイクリング、ダム見学会等を実施し、地域の活性化と河川地域の人々の交流を進めるものです。	クライミング体験、ダム湖周辺サイクリング、ダム見学会等	横瀬川ダム	約200人	令和5年11月	(100,000) 80,000
	⑤リレー防災みらいサロン (新規)	中讃地域防災・減災・縮災ネットワーク・プロジェクト	土器川	①交流の場、機会を増やす ②地域の多種多様な組織・団体が知り合いになる ③「防災」をキーワードに、地域で「つながりの輪」を作る ④地域の情報を共有する ⑤地域防災リーダーを育成する ⑥様々な地域活動に共同で参画しやすくする ⑦災害時に地域で協力しやすい体制を作る	第1部：防災・気象情報・河川情報など専門家による講話 第2部：防災などに関するカフェスタイル座談会	7市町内(丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、多度津町、琴平町、まんのう町)	210人 (30人×7)	年内7回開催	(100,000) 70,000
⑥四国に唯一生息するカジカ(県選定絶滅危惧Ⅰ類)の生息調査・保護 (新規)	香川淡水魚研究会	香東川・土器川	四国では唯一継続して香川に生息するカジカ大卵型(香川県選定絶滅危惧Ⅰ類) 個体群を絶滅から回避するために、精密な生息調査と人工産卵床設置による増殖の支援を行う。	四国の川を考える会の助成を得た3年間の水生生物調査で、香川県選定絶滅危惧Ⅰ類のカジカの生息状況が悪化の一途を辿っていることが確認された。香東川に生息が確認されているカジカは、カジカ大卵型と呼ばれる河川陸封型で、香東川産個体群が四国唯一の残された個体群である。昔は四国にも広範に分布していたと考えられるが、ダムの設置や河川改修で姿を消していった。本県でも土器川では1980年代を最後に生息が確認できなくなり、香東川でも柗川ダムの設置により急速に個体数が減少している。香東川産のカジカ大卵型の絶滅回避のために精密な生息調査を行い、増殖を支援するための人工産卵床の設置・観察に取り組む。あわせて土器川でも以前確認された地点で再生息調査を行い、生息情報を集積する。	(カジカ生息調査) 香東川・土器川上流域(人工産卵床設置・観察) 香東川上流域	(カジカ生息調査) 毎回5人程度(人工産卵床設置・観察) 毎回3人程度	(カジカ生息調査) 2023年6月～2024年1月(人工産卵床設置・観察) 2024年2月～5月	(100,000) 70,000	

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加予定人数	開催日	助成決定額
助成事業	⑦重信川かわまちづくりと重信川シクロクロス大会 (新規)	重信川シクロクロス実行委員会 ミズベリング愛媛	重信川	現在、整備が進められている重信川かわまちづくりは、自転車を中心とした利活用推進を図るものである。また、愛媛県全体としても自転車施策に重点的に取り組んでいるところで、重信川サイクリングロードもモデルコースに設定され、官民連携して自転車に関するポテンシャル向上を図っているところである。 重信川シクロクロス事項委員会では、国土交通省、愛媛県中予地方局、東温市と連携し、重信川を利用したシクロクロス大会を実施することで、重信川の魅力発信を行うとともに、河川空間を活用した地域の観光振興に資することを目的に活動している。	大会参加者の約300名で、重信川かわまちづくりスポット「かすみの森公園」の有効活用、サイクリングロードの更なる活用、認知度向上を目的として、「重信川シクロクロス大会」を行い、重信川とふれあい魅力を発信するとともに、国土交通省かわまちづくりの事業紹介などを行い、河川環境保全の理解を深める。	重信川かわまちづくりの森公園	約300人	令和6年1～2月頃	(100,000) 70,000
	⑧小学生によるあゆつかみ取りと河川水質の学習 (新規)	肱川漁業協同組合肱川支部・肱川プロジェクト	河辺川	地元小学生にあゆのつかみ取りを通して、川に親しんでもらい、川に生息・生育する魚についても学んでもらい、魚の生息・生育にはきれいな水が必要であり、水質保全の必要性を理解してもらおう。合わせて、川での遊びは危険もあり、命を守るためのライフジャケット着用の必要性についてもPRする。	(1) あゆのつかみ取り (2) 川(肱川・河辺川)に生息する魚類等 (3) 肱川・河辺川の水質調査(バックテスト) (4) 川に潜む危険(ライフジャケットの必要性)	大洲市肱川町山鳥坂 (河辺川河川敷)	約50人	令和5年8月中旬	(100,000) 70,000
	⑨水辺で乾杯 (新規)	MIZBERING NIYODOGAWA INOTOWN	仁淀川	行政と民間企業との橋渡しとなる団体として、全国上位に連なる良好な水質である仁淀川をフィールドでイベント等を行い、地域の活性化を図る。	リバークリーン活動後、河原をキャンドルアートで飾り、その中で弾き語り演奏を聴きながら、水辺で乾杯を行う予定。キレイになった自分たちの遊び場で、心やすらぐ音楽を聴きながら、デトックスを目的に実施。	いの町波川公園	100人	令和5年7月7日	(100,000) 70,000
	⑩仁淀川紙のこいのぼり (新規)	仁淀川紙のこいのぼり実行委員会	仁淀川	いの町の特産品「不織布」で作った約250匹の紙のこいのぼりを清流・仁淀川へ流し、いの町の貴重な財産である「土佐和紙」と「清流・仁淀川」のPRにつなげ地域振興を図る。	開催期間中、国道33号仁淀川橋下の水中に不織布で作った紙のこいのぼりを流し、隣接する波川公園ではワークショップ等を開催する。	仁淀川波川公園	約9,000人	令和6年5月3～5日	(100,000) 0 < 後援 >
	⑪神楽と鮎と酒に酔う (新規)	仁淀川神楽と鮎と酒に酔う実行委員会	仁淀川	仁淀川流域の文化、歴史、自然や食の魅力を波川公園で体験してもらうことにより、清流・仁淀川に育まれた豊かな地域資源のPR及び利活用を促進するとともに、環境保全への意識向上を図る。	・流域市町村の伝統芸能(神楽や吾北清流太鼓など)発表や音楽ライブ ・鮎の塩焼き販売 ・仁淀川流域酒蔵の利き酒(コロナ前に実施) ・仁淀川市(流域市町村の食材を使った飲食店出店)など	仁淀川波川公園	約1,500人	令和5年10月	(100,000) 70,000

(5) R5年度 役員改選(案)

[役員]

役職	役員名	住所 [電話]	改非	新
会長	鈴木 幸一			
副会長	三谷 健			
	武藤 裕則			
名誉顧問	三井 宏			
理事	田村 典子			
	菊池 弘美			
	五藤 隆彦			
	山地 秀樹			
	(一社)四国クリエイト協会 副理事長 藤山 究			
	四国治水期成同盟連合会 幹事長 泉 浩嗣			
	四国電力(株)再生可能エネルギー部 総括グループリーダー 加地 貴			
	(財)河川情報センター 高松センター所長 赤澤 善樹			

役職	役員名	住所 [電話]		
監事	香川県河川協会 事務局 佐野 健児			
	電源開発(株)西日本支店 支店長代理 前田 修一			

[運営幹事]

運営幹事名	住所 [電話]	新
四国電力(株)再生可能エネルギー部 総括グループリーダー 加地 貴		
電源開発(株)西日本支店 支店長代理 前田 修一		
(株)東京建設コンサルタント四国支社 支社長 五藤 隆彦		
いであ株式会社四国支店 高松営業所 横山 嘉夫		
香川県土木部 河川砂防課長 阿河 賢治		
四国地方整備局河川部 河川情報管理官 渡邊 健二		

[参 与]

参 与 名	住 所 [電 話]	新
徳島県県土整備部 河川整備課長 披田 毅		
香川県土木部 河川砂防課長 阿河 賢治		
愛媛県土木部 河川課長 町田 一益		
高知県土木部 河川課長 山本 治良		
四国地方整備局河川部 河川情報管理官 渡邊 健二		

(6) その他

1) 課題への対応方針(案)

(省略)

2) 会員の動向

(令和4年総会時点)

一般会員	138名
特別会員	71名
計	209名

(令和5年度総会時点想定)

142名
70名
212名